

平和人権対策特別委員会

日 時 平成23年12月15日（木） 午後3時24分～
場 所 第3委員会室

1 開議

2 所管事項調査

ヒューマンフェスタについて（生涯学習部説明、質疑）

3 次回の予定について

4 閉議

ヒューマンフェスタ	開催日数	展示期間	参加人数	開催費用	講演・コンサート他	映画等	子ども向け	市民参画	その他	同時開催事業
97 (第8回)	2	2	1,916							
98 (第9回)	2	2	3,500							
99 (第10回)	2	2	3,500							
2000 (第11回)	2	2	3,000							
2001 (第12回)	3	3	4,400	約566万	・妹尾河童 (作家) ・市民コンサート (8団体) ・ライブコンサート	ダンサー・イン・ザ・ダーク	人権アニメ 絵画・作文・標語		kBS京都ラジオ (公開放送)	
2002 (第13回)	2	2	3,200	約782万	・ダニエル・カール (タレント) ・市民プラスコンサート ・ライブコンサート	「GO」	子ども人権シネマ 絵画・作文・標語		kBS京都ラジオ (公開放送)	
2003 (第14回)	3	3	2,900	約657万	・有森裕子 (マラソン) ・市民プラスコンサート (小・中・高・市民)	クイール (盲導犬)	子ども人権アニメ 絵画・作文・標語	第19回市民プラス コンサート 学園大学		
2004 (第15回)	2	2	1,650	約392万	・宗田理	ぼたるの星	子ども人権アニメ 絵画・作文・標語	第20回市民プラス コンサート NPO亀岡人権交流 学園大学		
2005 (第16回)	1	3	3,000	約342万	・ステージ発表 (和太鼓、京都コリアン)		アンパンマン・ショー 風船・ぬりえ 絵画・作文・標語	NPO亀岡人権交流 学園大学	京都府人権啓発 フェスティバル	亀岡の特産品が 当たる抽選会
2006 (第17回)	1	5	2,000	約182万	・増岡弘	群読 劇団東京 ルネッサンス	人権アニメ 絵画・作文・標語	NPO亀岡人権交流 学園大学		
2007 (第18回)	1	6	1,500	約184万	・山折哲雄	ウィニング・パス	人権アニメ 絵画・作文・標語	NPO亀岡人権交流 学園大学		
2008 (第19回)	1	5	1,800	約286万	・金村義明 (野球)		アニメ・動物園 絵画・作文・標語 遊びコーナー	NPO亀岡人権交流 学園大学		
2009 (第20回)	1	4	2,400	約260万	・加藤ヒロユキ (テノールコンサート)		アニメ・動物園 絵画・作文・標語	NPO亀岡人権交流 学園大学		
2010 (第21回)	1	4	2,000	約241万	・奥井亜紀「平和の歌」 ・谷口キヨコ (DJ) ・キッサコ (音楽)		アニメ・動物園 絵画・作文・標語	市民コンサート (和太鼓、歌) NPO亀岡人権交流 学園大学	αステーション	
2011 (第22回)	1	7	3,000	予算額 約262万	・原田博行ミニライブ ・インディゴブルー (音楽)		アニメ・動物園 絵画・作文・標語	NPO亀岡人権交流 学園大学	αステーション	フリマ

平成2年度に、第1回「人権展」としてスタート

平成7年度 (第6回) から、「ふれあい啓発フェスティバル」に名称変更

平成9年度 (第8回) から、「ヒューマンフェスタ」に再び名称を変更し現在に至る

平成23年度は、「ゆう・あいフォーラム」と同時開催となる

「ゆう・あいフォーラム2011」ワークショップ・講演会等参加者数

団体・グループ名	テーマ	会場	時間	参加人数
ジェンダーフリーのまちづくり会議	ジェンダーってなあに？	1階特設ステージ	ヒューマンフェスタ オープニング後 12:00過ぎ	100人
働く女性の家	女性と仕事の歴史☆そして未来へ	2階大広間	10:00～12:30	37人
新日本婦人の会亀岡支部	3・11から新しい社会へ再出発～エネルギー電力について見つめなおそう～	2階大広間	10:00～12:00	28人
森のようちえん そとっこ	クリスマスアレンジのドリームキャッチャー	1階ロビーギャラリー	10:00～15:00	30人
亀岡地区更生保護女性会	手作り長屋へよっといで	1階ロビーギャラリー	10:00～12:00	40人
カラーフェスタかめおか	がんばりすぎのママの心をラクに～子育てに役立つカラー心理学～	2階研修室	10:00～11:00	9人
京都府女性の船「ステップあけぼの」亀岡支部	昔なつかしい遊びを楽しもう！	1階ロビーギャラリー	10:00～12:00	100人
おはなしのへや「さらな」	おはなしの世界とともに「ほっ」としたひと時を	1階図書館おはなし広場	10:00～12:00	30人
正木 明 講演会		2階大広間	13:30～15:00	350人
保育ルーム		2階和室研修室	10:00～15:30	3人
合 計 人 数				727人

ヒューマンフェスタ2011事業実施概要

1. 事業名称 ヒューマンフェスタ2011 in かめおか～いのちのきずな～
(平成23年度 生涯学習人権啓発事業)
2. 趣 旨 「人権・平和意識の高いまちづくり」の実現に向け、生涯学習都市宣言にうたわれている「人間の尊重」の精神の市民への浸透を図る。
3. 主 催 亀岡市
亀岡市人権啓発推進協議会
園部人権啓発活動地域ネットワーク協議会
4. 日 程 平成23年11月23日(祝・水)
午前10時～午後5時
※一部展示は17日(木)～23日(祝・水)
5. 場 所 ガレリアかめおか(亀岡市余部町宝久保1-1)
6. 参加人数 約3,000人
7. 内 容
 - (1) 「α-STATION SPECIAL STAGE」(アルファステーションスペシャルステージ)
 - (ア) 1ST STAGE 12:00～13:30
 - ・ オープニングセレモニー
 - ・ 人権作文朗読
 - ・ ジェンダーコント
 - ・ 原田博行ミニライブ
 - (イ) 2ND STAGE 15:00～16:45
 - ・ DJパフォーマンス(トーク&クイズ)
 - ・ Indigo blue(インディゴ・ブルー:ギターデュオ)スペシャルライブ
 - (2) アニメ「はしれわくわくアンパンマングランプリ」「それいけ!アンパンマン ブラックノーズと魔法の歌」
第1回 10:30～11:45、第2回 14:00～15:15

(3) ふれあい動物園 10:00~16:00

(4) 展示等

- ① 人権啓発作品展
- ② 文化センター・児童館コーナー
- ③ 震災復興支援活動コーナー
- ④ 人権擁護委員コーナー
- ⑤ 人権相談コーナー
- ⑥ 丹波支援学校作品展
- ⑦ 平和の取り組みパネル展示

【同時開催】

- 映像で綴る亀岡展（亀岡市・京都学園大学共同企画）
- 東日本大震災パネル展示（NPO亀岡人権交流センター）

8. その他 同日にガレリアで開催される催し

- (1) ゆう・あいフォーラム2011
- (2) フリーマーケット（コンベンションホール）

事業実施内容詳細

1. 事業名称 ヒューマンフェスタ2011inかめおか～いのちのきずな～
(平成23年度 生涯学習人権啓発事業)
2. 趣 旨 「人権・平和意識の高いまちづくり」の実現に向け、生涯学習都市宣言にうたわれている「人間の尊重」の精神の市民への浸透を図る。
 - 未曾有の大震災にみまわれた今年は、「いのちのきずな」をサブテーマとし、命の尊さと人の絆の大切さを、改めて市民みんなで考えるイベントとする。
 - 人権とはすべての人が幸せに生きる権利であり、人権問題とは一人ひとりの生命の問題である。今年は、大震災により多くの生命が奪われ、今なお多くの人が苦しんでいる。世界中から支援の手が差し伸べられ、亀岡市からも行政はもとより多くの市民が、それぞれの思いをこめて様々な支援を行ってきている。一人ひとりが幸せに生きることのできる社会を目指して、私たちのできることを、息の長い支援として続けていくことが必要であり、人の生命のつながりを少しでも感じてもらえるような催しを目指す。
 - 一方で、大上段に構えることなく、身近なことから人権に接する機会とすることも重要であり、子どもたちに、命の鼓動を直接感じてもらえる「ふれあい動物園」や被災地の心の支えとなっている「アンパンマンマーチ」、あるいは日ごろラジオで聞いているディスクジョッキーの言葉の中に込められた人権への思い、ミュージシャンの奏でる楽曲に込められた人への思いに接する中で、自分も他の人もありのままに認め尊重することの大事さを感じる機会となる催しとする。
3. 主 催 亀岡市
亀岡市人権啓発推進協議会
園部人権啓発活動地域ネットワーク協議会
4. 日 程 平成23年11月23日(祝・水) 10:00～17:00
※一部展示は17日(木)～23日(祝・水)
5. 場 所 ガレリアかめおか(亀岡市余部町宝久保1-1)

6. 参加人数 約3,000人(昨年約2,000人)

7. 内 容

(1) 「 α -STATION SPECIAL STAGE」(アルファステーションスペシャルステージ)

※FMラジオ局 α ステーション(89.4MHz)のDJ(アナウンサー)による特設ステージ

※ α ステーションは京都府・滋賀県を中心に約1,700万人のリスナーを誇っており、FMラジオによるイベント告知スポット放送(ゆう・あいフォーラム含む)、出演DJによる各番組内での告知等も実施。

※ゆう・あいフォーラムの講演会が、午後1時30分～午後3時に開催されることから、2部形式として、トークと音楽を主としたイベントを実施。

◎進行：マツモトアキノリ、珠玖美穂子(しゅくみほこ)

※進行DJのマツモトアキノリ氏は、FMラジオ・アルファステーションで毎週木曜日午後10時25分から放送されている「STARDUST PARADE」を担当。その番組中に京都人権啓発推進会議(京都府・京都市・京都府市長会・京都府人権擁護委員連合会・京都商工会議所等で構成)の人権啓発ラジオ番組として、「Voice To You」というコーナーを設け、友達や家族、また生活している中での「人と人との繋がり」や「命の尊さ」など「人権」という言葉にスポットをあてて、音楽アーティストが自らの体験など人権にかかわるメッセージを伝えている。また、8月1日に京都駅前で開催された人権啓発コンサート(京都人権啓発推進会議主催)でも司会を担当している。

◎ゲストDJ：佐藤弘樹、前田彩名(会場内アナウンス)

(ア)1ST STAGE 12:00～13:30(約100人)

- ・オープニングセレモニー

(主催者挨拶)

栗山市長、仮屋京都地方法務局園部支局長

- ・人権作文朗読(平成23年度人権啓発作品会長賞 「行動すること」大井小学校6年 澤井美和さん)
- ・ジェンダーコント(ジェンダーフリーのまちづくり会議)

- 原田博行ミニライブ (HARADAISE RADIO DJ・フォークシンガー)、一部公開録音：同日21時～22時の番組内で放送
- 今年度のヒューマンフェスタは、東日本大震災をふまえ人権とは生命の問題であることを改めて訴えるため「いのちのきずな」をサブテーマとして開催しました。
- ジェームスは、亀岡市内の獣医が殺処分から救い、京都河原町の高島屋前で里親探しをした最後の一匹。人間の身勝手により命を失いかけた経歴を持つ犬です。ジェームスの生きてきた軌跡や、縁あって里親となった人の死、今の家族など、ジェームスを取り巻く様々な事柄を通じてDJの原田氏が命と人権を語りました。当日の夜の放送でも、ヒューマンフェスタについて語られ、ラジオで流されることにより、多くの人が命について考えるきっかけになったと期待されます。
- ガレリアかめおかは介助犬以外の入館は禁止されていますが、今回ヒューマンフェスタの事業趣旨をふまえ、特別に許可を得て、ステージに登場させることができました。参加者一人ひとりが、身近なこととして生命の尊さを感じてもらうきっかけとなったことと思われます。

(イ)2ND STAGE 15:00～16:45 (150人)

- DJパフォーマンス (トーク&クイズ)
- Indigo blue (インディゴ・ブルー：ギターデュオ) スペシャルライブ
 【indigo blue (インディゴ・ブルー) Profile】
時を経ても色褪せることなく、どの時代でもより美しさを放つような音楽を届けたいとの想いを込め、indigo blue結成。ブルース・カントリー・R&Bをルーツとし、アコースティックギターをフィーチャーしたサウンドが、ハスキーで圧倒的な表現力のヴォーカルに駆け込み、生み出されたオーガニックな世界。そのサウンドは海や空を想起させる。1stアルバム『indigo blue』、2ndアルバム『indigo blue2 ～scent of magnolia～』は、いずれもアメリカはテネシー州、ナッシュビルにてレコーディング。また、デビュー直後からスターバックスコーヒーにて行うカフェライブを続けている。'08年3月、スターバックスコーヒーのスプリング・キャンペーン『2008 "SAKURA"』に参加。同キャンペーン用に「SAKURA Road」

という楽曲を書き下ろし、全国のスターバックスコーヒーにてチョコレートとセットで限定販売された。同年、3rdアルバム『indigo blue 3 〜magic carpet〜』をリリース。'09年9月、ローソン『Uchi Cafe Sweets』イメージ・ソング「Sweets Magic」を発表すると同時に、映画『天使の恋』（主演：佐々木希／'09年11月7日より全国ロードショー）で初の映画音楽を担当。オープニング・テーマ「I'm The One」も手掛ける。また、時同じくして『NHKみんなのうた』としてO.A.された「My Wish 〜マイ・ウィッシュ〜」が多くのメディアに取り上げられ、世代を超えた反響を呼ぶ。そして2010年10月20日、実に2年ぶりとなる待望の新作フル・アルバム『SHORELY』をリリース。2011年度は配信シングルの発表や様々なアーティストとのコラボレーションに積極的に参加している。（αステーション提供資料）

(2) アニメ「はしれわくわくアンパンマングランプリ」「それいけ！アンパンマン ブラックノーズと魔法の歌」

第1回 10:30～11:45（約180人）

第2回 14:00～15:15（約150人）

※アンパンマンは小さなこども達から、大人まで、暖かい気持ちにさせてくれるアニメです。東日本大震災の被災地でも「アンパンマンのマーチ」が震災直後にラジオで流されると、リクエストが殺到し、動画サイトでも総再生回数が1400万回に及ぶなど、被災者を元気付ける歌となっています。

作者のやなせたかし氏は、人権イメージキャラクターの「人KENまもる君」「人KENあゆみちゃん」の生みの親で、人権への思いが強く、その作品には、勇気と友情、そして人を思いやる心があふれておりヒューマンフェスタにふさわしいアニメとして毎年上映、親子や孫を連れた姿も多く、今年も家族連れに人気の高い催しとなりました。

(3) ふれあい動物園 10:00～16:00（約800人）

近年、子どもが動物とふれあう場は少なくなっており、少子化とあいまって、命の尊さを学ぶ機会も少なくなっています。身近な動物とふれあうことができる「ふれあい動物園」（移動動物園）は、生きものの生命を感じることができる場所であり、

子どもたちが、人権の視点をもって他者と接する心を育む機会となることが期待されます。また例年、幼児・小学生を中心とした親子に人気が高く、今年も多くの参加がありました。

(4) 展示等

① 人権啓発作品展

平成23年度の人権啓発作品応募作のうち入賞作品159点を展示（ポスター50点、作文48点、メッセージ61点）

※応募数は570点（ポスター207点、作文97点、メッセージ266点）。各学校で事前審査をして応募しており、全取組数は11、565点に及ぶ（ポスター2、754点、作文2、707点、メッセージ6、104点）。

② 文化センター・児童館コーナー

各文化センター・児童館の活動を写真パネルで紹介しました。

③ 震災復興支援活動コーナー

- ・ 消防、水道、保健センターなど被災地派遣を行ってきており、その支援活動等を写真で紹介しました。
- ・ 被災地の子どもたちの絵で作られた紙芝居を展示（人権教育啓発推進センターから借用）

④ 人権擁護委員コーナー

- ・ 人権擁護委員によるコーナー。参加者に人権への思いや大切な人への言葉や絵など描いてもらった色紙の葉を人権の樹に貼り付けてもらい、参加者みんなで大きな人権の樹を作り上げました。
- ・ また京都地方法務局園部支局との連携により人権イメージキャラクターの人KENまもる君と人KENあゆみちゃんの着ぐるみが登場。参加者と一緒に写真を撮ってプレゼントしました。

⑤ 人権相談コーナー

- ・ 人権擁護委員による人権相談コーナー。相談希望があれば、人権相談室（2階研修室に設置）で相談を行う予定をしていましたが、相談希望はありませんでした。

⑥ 丹波支援学校作品展

- ・ 京都府立丹波支援学校の生徒による作品の展示が行われました。

⑦ 平和の取り組みパネル展

- 「“ヒロシマ”に学ぶ親子平和の旅」の記録写真等を展示しました。

【同時開催】

- 映像で綴る亀岡展（亀岡市・京都学園大学共同企画）
 - 京都学園大学の学生が撮影した亀岡の風景等を上映
 - 東日本大震災パネル展示（NPO亀岡人権交流センター）
 - 被災地での支援活動の様子や現地の状況などを写真等で紹介
8. その他 同日にガレリアで開催された催し
- (1) ゆう・あいフォーラム2011
 - 亀岡市男女共同参画推進事業
 - 気象予報士の正木明氏による講演「パパはお天気キャスター～子育て、家事、互いを尊重し、支え合う正木家のルール～」
 - ワークショップ
 - ゆう・あいフォーラム参画団体活動紹介パネル展示など
 - (2) フリーマーケット（コンベンションホール）